

WEEKLY REPORT

ROTARY CLUB OF NAGOYA AIRPORT since 29 July, 1974

2016～2017年度RIテーマ:『 ～人類に奉仕するロータリー～ 』
 ガバナー方針:『 ～真のロータリアンになろう、ロータリアンを見つけよう～ 』
 クラブ方針:『 笑顔と共に奉仕の輪を広げよう! 』
 ～明るく・楽しく・心豊かに～



名古屋空港ロータリークラブ

事務局
 名古屋市中村区名駅4-3-10 東海ビル606号室
 TEL(052)561-2405 FAX(052)571-2867
 E-mail rongoapt@mta.biglobe.ne.jp
 会長/ 武田 英昭
 幹事/ 田邊 雅彦
 広報委員長/ 太田 威彦
 例会日/毎週月曜日 12:30～13:30
 例会場/キャッスルプラザ



第1936回例会

2017年5月21(日)～23日(火) 第37回

●例会行事 東北震災復興支援ツアー
 職場例会並びに春の家族会
 ～絆でつなぐ三陸海岸縦断(南リアス線)
 の旅～

●参加者 武田英昭会長夫妻
 原田好展副会長夫妻・稲吉将秀会長IL外
 波多野 真PP・田邊雅彦幹事
 松本雅人副幹事
 三治 明PP夫妻・市川 孝PP
 太田哲郎PP夫妻・金井和治PP夫妻
 竹尾 悟PP・串田正克PP夫妻
 内海辰巳PP夫妻・山北秀和会員夫妻
 照井通夫会員・阿萬裕子会員
 入谷宏典会員・山内佳紀会員
 伊藤康司会員
 会員19名 夫人8名 計17名

●ニコニコボックス報告

陸前高田 RC より¥50,000※(5/21 合同懇親会)
 名古屋空港 RC 会員より¥21,000

御協力ありがとうございました。

本日の協力 20名 71,000円
 本年度の協力累計 1,705,000円

東北復興支援ツアー

5/21(日) 講演会並びに陸前高田RCとの合同懇親会



(株)八木澤商店 取締役会長 河野和義様
 講演 陸前高田市キャピタルホテル 1000にて

委員会報告

●出席報告

本日の例会					
会員数	53		出席率	47.5%	
出席者	出席義務者	14	欠席者	出席義務者	21
	出席免除者	5	欠席者	出席免除者	13
	出席者計	19	欠席者計	34	
前々回例会(5月8日)					
会員数	53		出席率	97.87%	
出席者	出席義務者	34	欠席者	出席義務者	1
	出席免除者	12	欠席者	出席免除者	6
	出席者計	46	欠席者計	7	



陸前高田 RC 2016-17 会長石川和見様に義援金贈呈

(陸前高田 RC 合同懇親会 武田英昭会長挨拶)

陸前高田 RC の皆様、はじめまして。本年度、名古屋空港 RC の会長を務めております武田でございます。

今日は、ご多忙にも拘らず、石川会長はじめ会員皆様にもご出席賜り、当クラブ会員を代表致しまして、心より御礼を申し上げます。

平成 23 年 3 月 11 日に発生した「東日本大震災」から 6 年が経過致しました。

6 年前、三陸沿岸地域の陸前高田も津波により、町は全滅、死者・行方不明者が 1,900 名を超える等、甚大な被害をもたらしました。

その様な状況にありながら、破壊された町の暮らしを守ろうと支援を待つことなく、いち早く立ち上がったのが、先程、講演を拝聴致しました当クラブ 串田 P 会長と親交のある陸前高田で醸造業を 200 年以上営んできた老舗・八木澤商店 八代目社長 河野和義様です。河野様が、ご子息の九代目 河野道洋社長と共に、八木澤商店の再建を宣言したのは、震災から 1 ヶ月も経たない 4 月 1 日であったとの事。想像を絶する極限の状態にありながらこの決断をしたのは、「生活の基盤を奪われて未来を失い心が壊れて死ぬ人が出ないよう。これ以上の犠牲を出してはいけなと雇用を守ることを通じて安心して暮らせる町を作るのが、生き残った者の使命である。」と社員一人も解雇せず、被災した町の為に支援物資を配る事も業務と認め、更に、同業他社に製造を委託した商品を販売し、製造業としてのジレンマと闘いながら雇用を守り続けたとの事です。

河野様は、どの様な状況でも「自立しようという精神を持ち続けければ、何時か何処かに繋がる。」とお話をされました。

今回の講演会で今後の震災復興支援のあり方、又、ロータリアンの一人としてロータリーの職業奉仕とは、何かを教えられたような気がいたしました。

話は変わりますが、陸前高田市は復興のシンボルとなった「奇跡の一本松」と共に「海と緑と太陽との共生・海浜新都市の創造」を目指しているとの事。

そこで、当クラブ会員 53 名から、些少でございますが、復興の願いを含め「義援金」を陸前高田 RC 様に託したいと思えます。この義援金が、陸前高田の復興の一助となれば幸いと考えるところでございます。

最後に、本年度、当クラブは、"明るく・楽しく・心豊かに、"をモットーに「笑顔と共に奉仕の輪を広げよう」をクラブテーマとして掲げております。この合同懇親会が、陸前高田 RC の皆様と「笑顔と共に友愛の輪が、広がること」を祈念致しまして挨拶といたします。



バナー交換



陸前高田 RC と懇親夕食会



陸前高田 RC と合同記念写真

5/22 (月) 宮古東 RC との合同例会



武田会長挨拶 例会場「レストランほりた」にて

(宮古東 RC 合同例会 武田英昭会長挨拶)

宮古東 RC の皆様、はじめまして。本年度、名古屋空港 RC の会長を務めております武田でございます。

今日は、当クラブの無理な申し入れにより、貴クラブの年間行事予定を変更してまでの合同例会開催等、多大なるご理解を賜り、菊池会長はじめ会員皆様に当クラブ会員を代表致しまして、心より御礼を申し上げます。

又、貴クラブに於かれましては、昨年 5 月に創立 50 周年記念式典を立派に開催されたとの事、その際には、当クラブに身に余る感謝状まで頂戴し、重ねてお慶びと御礼を申し上げる次第でございます。

平成 23 年 3 月 11 日に発生した「東日本大震災」から 6 年が経過致しました。未だ、全国に 10 万 9 千名余りの人が、避難をしている状況との事。

この宮古市に於いても死者・行方不明者 517 人、建物被害 9,088 棟等、甚大な被害をもたらしました。

その様な状況の中で、貴クラブは、いち早く「東日本大震災における復興プロジェクト」を立ち上げ、会員一丸となって被災者支援の為、行動されたとの事、想像を絶する極限の状況でありながら、皆様の行動には、ロータリアンの一人として頭の下がる思いです。

その復興プロジェクトの一つ仮設住宅に住む高齢者の運動不足対策として「鋤・鍬等の農作業の為の農具の支援」を貴クラブから持ちかけられ、当クラブは、平成 24 年 10 月、串田年度に支援の第一陣として「農作業用具を被災者の為」に寄贈をさせて頂きました。又、宮古市が目指す「森・川・海と人が共生する安らぎの町」実現の為、貴クラブの 50 周年事業でもあった「森林保護の為の植林事業」にも参画をさせて頂いた事等、当クラブを代表して改めて感謝を申しあげる次第です。

復興は、未だ、道半ばとか考えますが、当クラブとしては今後共、「宮古の人々に活力と笑顔が戻る迄」支援を続けたいと考えているところでございます。

宮古市は、「こころ育む、美しい森。いのち育む、清らかな川。めぐみ育む、豊かな海。」を合言葉に「森・川・海と人が共生する安らぎの町」の復興を目指しているとの事、一日も早い復興を願うところで。

最後に、本年度、当クラブは、「明るく・楽しく・心豊かに、をモットーに「笑顔と共に奉仕の輪を広げよう」をクラブテーマとして掲げておりますが、この合同例会が、宮古東 RC の皆様と「笑顔と共に友愛の輪が広がる合同例会」となる事を祈念致しまして会長挨拶といたします。



例会場「レストランほりた」にて



宮古東 RC と合同例会 記念写真



浄土ヶ浜にて記念写真



浄土ヶ浜パークホテルにて懇親会

